

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	上村4号線整備事業	会計	一般会計	事業No.	601	施策順No.	72-013
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-11-7		
政策	7 自立・連携した地域づくり	課等名			土木課		
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上	事業期間	開始	22	終了	26	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	通過車両						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	自動車交通量:台/日				171	171	
	意図	便利で安全に移動ができる。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	進捗率:% (当年度までの実施済額/全体事業費×100)				20	18	40	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	計画的に事業を進め、おおむね目標を達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	地域再生計画に基づいて地域の活性化を目指し道路を改良する。 本路線は、国道152号の車両不通部分を補完する重要な路線であるが、幅員が狭く法面崩壊により安定的な通行が出来ない状態にあるため、勾配修正、拡幅改良、待避所設置及び舗装打替を行い、交通の安全を図る。 上村4号線(程野山工区)道路改良工事 L=160m W=4.0(5.0)m		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	道路改良工事 法面吹付工	施工延長	L=56m
23年度実施計画	道路改良工事 法面吹付工	施工延長	L=40m

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)道整備交付金(1/2) (地)過疎対策(充当率100%) 22→23繰越明許費 5,408千円
	国庫支出金		4,800	1,700	5,000	
	県支出金					
	起債		4,992	1,804		
	その他				5,100	
	一般財源		8	88		
計(A)		9,800	3,592	10,100		
正規職員所要時間				30		
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)				107		
トータルコスト A+B				3,699		

4 事業に対する市民や議会の意見

環境事業において本当に大事な道路であり、通行止め解除はいつ頃になるのかという、問い合わせがあった。
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞り者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	幅員が狭く法面崩壊により安定的な通行が出来ない状態にあるため、勾配修正、拡幅改良、待避所設置及び舗装打替等により改善をした。		
	後期に向けた課題	限られた工事期間(観光道路のためシーズンオフ)での工事実施。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	工法検討を行い、同等の性能で安価な工法を選択した。		
	後期に向けた課題	限られた工事期間(観光道路のためシーズンオフ)での工事実施。→工法検討等。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	経費の縮減と再生材の使用。		
	後期に向けた課題	よりいっそうの経費の縮減と再生材の使用及び職員の意識向上。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	幅員が狭く法面崩壊により安定的な通行が出来ない状態にあるため、勾配修正、拡幅改良、待避所設置及び舗装打替等により改善ができた。		
	後期に向けた課題	要望箇所の早期改良実施のための、予算措置と計画的実施。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------